

会 議 録

1. 用 務 令和7年度第1回平泉町観光審議会
2. 月 日 令和8年3月19日(木) 14:00~15:00
3. 用 務 先 平泉町役場2階 庁議室
4. 出 席 者 別紙委員名簿のとおり(12人中4人欠席)
5. 挨 拶 青木町長、千葉観光審議会会長
6. 協 議 委員の半数以上が出席したため、会議は成立

(1) 令和7年度事業報告について

⇒別紙に基づき、事務局より説明。

(質疑・意見)

Q1: 平泉観光 PR 動画を制作したようだが、町公式キャラクター「きよひらくん」の SNS のみで流すのはもったいない。広告代理店などに依頼して、平泉に興味を持つようなターゲットを絞った WEB 広告などを行い、より多くの人に見てもらって平泉町への誘致につなげてほしい。

A1: 令和8年度には春パート分を追加した PR 動画だけでなく、春夏秋冬をテーマにした PR 動画も作成する予定。より多くの人目に触れるように、紅葉の時期のスポット WEB 広告など、様々な方法を検討したい。

Q2: PR 動画について、平泉町がどこにあるか伝わらなかった。そもそも平泉町の場所を分からない人もいると思うので、岩手の県南地区にあるなど位置が分かるようにした方がいいと感じた。

A2: 動画はイベント会場などで放送し、その際には観光パンフレットも配布することになる。令和8年度 PR 動画制作する際には、位置表示について業者と協議したい。

Q3: 修学旅行数が減少しているが、事務局では原因を把握しているのか？また今後を見据えて、新規開拓などの考えはあるのか？

A3: 今年度は、平泉町を多く訪れている北海道内の旅行会社や中学校を訪問し、状況調査を行った。その結果、減少している主な要因はバス代の高騰によるもの。従来は盛岡市まで新幹線、その後はバスによる交通手段で平泉町まで来ていたが、バス代が高いため盛岡から南には行けないという学校が増えてきている。なお首都圏の学校について、従来は関西方面に修学旅行に行っていたが、オーバーツーリズムの影響で方面変更を検討しているようだ。そのため令和8年度は首都圏の旅行会社等を訪問して PR を行う予定。またバス代の高騰については、岩手県でバス代の補助も実施しているので、合わせて PR していきたい。

(2) 令和8年度事業計画について

⇒別紙に基づき、事務局より説明。

(質疑・意見)

Q1: 交通対策について、渋滞緩和のため平泉 S I C 駐車場を有効活用してほしい。巡回バス「るんるん」が平泉 S I C 駐車場に止まるように路線を延長したり、シャトルバスを運行したりするなど検討してほしい。

A1：5月3日の藤原まつりの際にはシャトルバスを運行している。「るんるん」の路線延長については県交通と協議が必要であり、今後の地域公共交通会議や直接話す機会を設けるなどして、意見交換していきたいと思う。

Q2：ジャズフェスティバルについて、無量光院跡でも演奏しており、平泉らしくて素晴らしいと思った。現在無量光院跡で舞台設置の工事を行っているが、その舞台を有効活用するイベントなどは考えているのか？

A2：現在平泉文化遺産センターが主導で舞台設置工事を行っている。ジャズフェスティバル以外のイベントでも有効活用できればと考えている。

Q3：具体的な考えはあるか？

A3：5/30に舞台のこけら落としを予定している。その際には毛越寺延年の舞も披露する予定。

Q4：日本遺産に関する事業はどのようなものを行っているのか？

A4：日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」は令和7年度に大船渡市が追加認定を受け、令和8年度には一関市と住田町も追加認定される予定。日本遺産に関するシンポジウムやマルシェなどのイベントを通じてPR活動を行っている。

Q5：観光と文化遺産に温度差があると上手くいかない。日本遺産を通じて何をしたいのか、しっかりと目的や方向性を決めることが重要だと思う。

A5：日本遺産のPRを今後どのようにしていくか、観光とどう結びつけるかが課題。なお今年度は平泉町で開催した「平泉世界遺産祭」などのイベントで日本遺産のブースを出展し、日本遺産に対する普及啓発を図った。今後もそれぞれの市町のイベントで日本遺産をPRしていくことが大切だと感じる。

⇒協議結果、(1)・(2)ともに承認

(3) その他

⇒事務局より、「平泉町観光振興計画進捗管理」資料に基づき説明。